

『かわら版』  
第13回

「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

「セーフコミュニティ」について詳しく知りたい方は、市HPをご覧ください♪



「セーフコミュニティ」は、みんなの身近に起こっている**事故やけがを予防する取組み**のことです。  
「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、**みんなが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切です。**

7分野の取組⑥「防災・災害対策」

防災・災害対策

目標 桜島地区における避難体制の再構築

取組 住民の避難状況の把握  
避難行動要支援者の避難体制確立  
避難訓練の充実強化



～避難訓練の充実強化～

初めての  
夜間訓練実施

桜島火山爆発総合防災訓練  
(島内避難訓練)  
(平成28年11月18日実施)

平成27年の噴火警戒レベル4引き上げ時に、実際に避難した有村地区、古里東地区及び塩屋ヶ元地区を対象に、夜間に避難する訓練を実施しました。



避難バスの状況 (古里東)



道路の不通を想定した海上輸送訓練

桜島火山爆発総合防災訓練  
(島外避難訓練)  
(平成29年1月12日実施)

いずれも  
初の試み!

主な訓練として、  
①バスを使用した住民避難誘導訓練  
②残留者捜索・輸送訓練、現地本部撤収訓練  
③住民主体による避難所設置・運営訓練を行いました。

【テーマ】  
1人の逃げ遅れも出さないために  
【サブテーマ】  
新たな避難体制の構築に向けて



黒神中学校の避難状況



住民主体による避難所運営

今後の訓練の方向性

今回の反省  
を踏まえて

1. バス避難の有効性が確認できたので、海上避難と陸上避難を組み合わせた訓練を実施。
2. 住民主体による避難所運営訓練の有効性が確認できたので、全島へ展開。
3. 残留者捜索等実地での訓練の有効性が確認できたので、実地での機会を拡大。

～住民の避難状況の把握～  
(桜島全島避難に関する調査)

(1) 趣旨

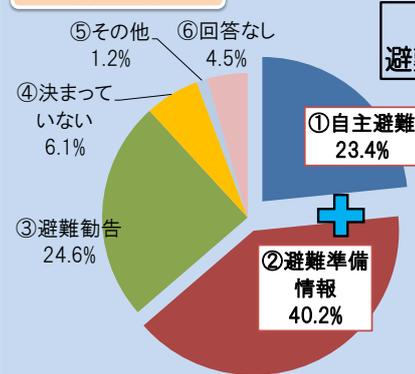
平成27年8月の噴火警戒レベル4への防災対応を踏まえる中で、緊急連絡先の把握、複合災害時の避難手段の確保などの課題があったため、桜島の全島民を対象に実施。

(2) 調査時期 平成28年7月～8月

(3) 回収率 92.1%

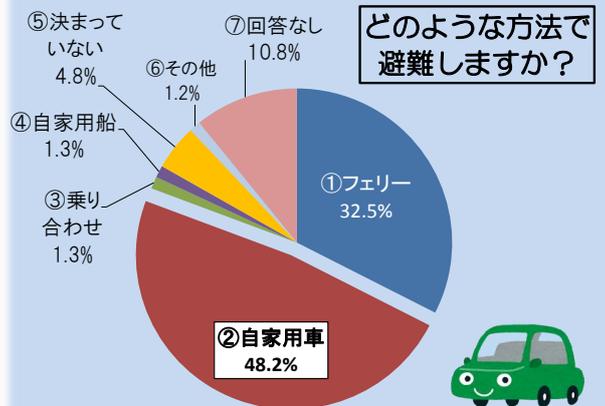
※調査結果をもとに、住民一覧表(災害用名簿)を作成しました。

調査結果



いつ  
避難しますか?

約6割の方が、避難勧告発令前に避難すると答えました。



どのような方法で  
避難しますか?

およそ半分の人が自家用車で避難を希望しています。

～今後の取組～

- ① 鹿児島市地域防災計画「火山災害対策編」を強化していきます!
- ② 桜島火山爆発総合防災訓練の充実に取り組みます!

